

東京教区時報

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nsk.org
 Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

第1204号
 2011年4月17日発行
 日本聖公会東京教区
 港区芝公園3-6-18
 編集人 英 久子

『奉献先から』 新生「月島聖ルカ保育園の誕生」

今年の4月1日、宗教法人大から社会福祉法人になって初めて、月島聖ルカ保育園の入園式が、月島聖公会の新聖堂で行われました。0歳児1歳児を含め、新入園児41名と在園生51名、それに「家族の方々」が、新聖堂に集い、聖歌を歌い、共に祈り、神様の祝福を受けました。教職員も19名から27名に増え、皆はりきって任務に就いています。

在園児はもとより、教職員もまたご父母の皆様も、すべてが「神様の子ども」として尊ばれ、豊かな人生を生きていくことができるよう心から祈り、日々力を尽くしています。一層のお祈りとお支えをお願いします。

願いましたします。

(司祭神崎雄二)

◆教役者レクイエム 4月20日(水) 10時半

主教座聖堂

説教 神崎雄二司祭

▽主教蒔田誠▽司祭中島修▽司祭山口信太郎▽主教上田一良▽主教元田作之進▽伝道師ミス・ボイド▽主教ジョン・マキム▽

司祭大藤鑄三郎▽司祭小林彦五郎▽執事八木立三▽主教大久保直彦▽伝道師鈴木しげ子▽司祭大野敏之▽伝道師齋藤伊佐子▽司祭落合吉之助▽司祭大木弘行▽司祭島田忠雄▽司祭木村信一

* 教区HP 東日本大震災関連に東北教区加藤主教学マッソージ②「東日本大震災東北教区の現在の状況と取り組みについて」を掲載。

今週・来週の予定 4月17日～30日

- 17(日) 復活前主日
 主教巡回 千住基督教会(牧師任命式)
 教区合同堅信式
 教役者会聖餐式
- 18(月) 聖職養成委員会
 宣教協議準備委員会
- 19(火) 正平協運営委員会
- 20(水) 教役者レクイエム
 人權委員会
- 21(木) 教役者会
 聖木曜日礼拝
 聖土曜日礼拝
- 22(金) 復活日
 主教巡回 聖アンデレ教会
- 23(土) 復活日
- 24(日) 復活日
 主教巡回 聖アンデレ教会
- 25(月) ハラスメント防止委員会
 礼拝音楽委員会
- 26(火) 銀座朝会
 常置委員会
- 27(水) 分担金・特別委員会
- 29(金) 休多摩G牧師協議会

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

春、新たな年度を迎えました教育の現場は殊更慌ただしい日々を送っています。そのような中、目先のことに捕らわれ過ぎて、ともすれば「平常心」を失いがちにもなります。

その「平常心」ということで、昔、唐の時代に南泉和尚という高僧は「平常心こそが道である」という言葉を残されました。私の勝手な解釈になりますが、「平常心とは、生き方、在り方そのものである」という意味に受け止めています。

《み手のなかで》

今に — 平常心 —

め、今なすべきことに心を注ぐ」、換言すれば「本気です」ということに通ずるものと思います。

「慌てるな、落ち着け」と自分に言い聞かせても、かえって焦ること、慌てること、心乱すことしばしばです。むしろ、「今」という二度と無い時に心込め、心注ぐことが、平常心への近道「平常心を生み出す術」と思えてなりません。

教育の現場では、日々子どもたちから豊かなものを授かり、気付かされます。そのことへのせめてものお礼に、「心込めようね、今に！」心注ごうね、今できることに」と返しています。

心の有り様、持ちようのことだけに留まっではないような気がしています。おそらく、辞書には次のような解説は出ていないでしょうが、「今、していることに心を込

「今」を大事にする姿は、美しく、豊かさや穏やかさを生み出すようです。

(香蘭女学校チャプレン)

東日本大震災 東京教区支援
 対策本部内支援助物資補給部の情報：前後遅くに現地からの要請を受け11日朝、物資を積んだ2トントラック2台が釜石市の大石地区へ向けて出発。このあたりは未だ食料品もままならないと。この日も大きな余震が数回：。

◇教区・聖なる三日間の礼拝

4月21日(聖木曜日) 11時 聖油聖別の聖餐式・司祭按手の約束の更新

22日(聖金曜日・受苦日) 正午

受苦日礼拝 司式・神崎和子司祭／説教・佐々木道人司祭

23日(聖土曜日) 18時 復活前宵祭・復活のろうそくの礼拝

【教会・聖なる三日間の礼拝】

▽21日(聖木曜日) 聖テモ

テ8時 聖マルコ10時半・19時

全生園15時 外濠G(目白)・聖

マーガレット・神田キリスト・聖

パトリック・池袋・阿佐ヶ谷聖へ

テロ・清瀬聖母19時。

▽22日(聖金曜日・受苦日)

聖テモテ8時 聖パトリック

9時・12時 清瀬聖母10時半

全生園15時 池袋・阿佐ヶ谷聖へ

テロ19時。

▽23日(聖土曜日) 聖パト

リック9時・17時 全生園15時

神田キリスト16時 清瀬聖母

17時 聖マーガレット・聖マル

コ・聖テモテ18時 池袋・阿佐

ヶ谷聖へテロ19時。

【イースターエッグ作り】 23日

(土) 八王子復活 10時コスモ

スの会(土曜学校) 聖救主 午後

(日曜学校) 池袋 13時。

《今、この教会では…》

滝乃川学園聖三一礼拝堂

昭和3年の建築当時の礼拝堂の写真をみると、周囲に何も無いために建物全体を見渡すことができ、とてもすっきりとした外観でした。時も移り、今やイチョウ5本、もみの木、けやき、どれも20メートルを超す巨木。昨年台風の風でイチョウの大枝が折れ落下、幸いにも被害はなかったのですが、もし人、教会の屋根に落ちていたら…。

思いきって大規模な剪定を行いました。スカスカな木を見ると寂しい思いもありますが、安全には換えられません。そして礼拝堂内に入ると、何と明るいか!!びつくりです。

(聖職候補生 高瀬祐二)

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

【クローズアップ】 81

ハラスメント防止担当者

分かち合いの会に参加して

3月6日・7日の2日間、京都教区センターで、管区の人権担当者、正義と平和委員会、ジェンダープロジェクト、女性に関する課題の担当者の共催により各教区のハラスメント防止担当者(2008年に続き2回目)が開かれた。その内容は次の2点であった。

①教区・管区の活動の現状報告

各教区のうち、ハラスメント防止委員会等の専門組織が存在するのは7教区、うち相談窓口もありは6教区、一方、専門組織設置準備中は3教区、未着手は1教区との状況だった。

また防止組織の活動は、ハラスメント発生予防のための意識

啓発活動の展開と、発生してしまつたハラスメントの訴えに対する対応業務(相談対応・調査・調停等)の2つからなるが

後者については東京教区で昨年

度9件の対応があつた以外は、

専門組織を持つ7教区ではゼロ

もしくは1件という状況が報告

された。一方、ハラスメント防

止のための研修会やセミナーに

ついては多くの教区で積極的に

企画実施されており、信徒対象

だけでなく教役者対象のものも

実施されていた。

②今後の協働や管区役割、課題

管区にはハラスメント問題の

専門対応部署がないことも踏ま

えて、対応組織の課題や解決方

向について話し合いがなされ、

次のような意見が出された。

○ハラスメント防止担当者には

専門性とできれば専従性が必要

○外部専門家や専門機関との契

約委託も検討すべき○各教区の

担当者からの相談対応や情報交

流を果たす管区の担当者の設置

を○啓発活動プログラムや講師

案、相談窓口運営や調査委員の

委嘱など、教区で共有・協働が

可能な内容についても検討を進

めるべき等。

最後にこれらの指摘や提案に

対し、今後、教区を超えたサポー

トの体制や方法を、管区や主教会

等で検討していきたいとの主催者

の言葉で締めくくられた。

東京教区ハラスメント防止委員長

阿部 裕